

別記様式

会議録（要点筆記）

会議名	第2回米原市教育振興基本計画審議会
開催日時	令和3年1月28日（木） 午後7時～ 午後9時
開催場所	米原市役所米原庁舎2A会議室
出席者および欠席者	出席者：大橋松行会長、梶本一孝副会長、田中一郎委員、須藤明子委員、久保田吉則委員、富岡尚子委員、石河輝男委員、四方由美子委員、上橋純子委員、藤木利彦委員、馬淵孝子委員、川部亮委員、山岡佳江委員、新木豊委員 欠席者：高木清文委員 【事務局職員】 山本太一教育長、上村浩教育部長、口分田剛教育部次長兼教育総務課長、金澤博文学校教育課長、梶田悟生涯学習課長、桂田峰男歴史文化財保護課長、藤田明子学校給食課長、高畑徹こども未来部長、阿原麻木子未来部次長兼子育て支援課長、小寺真司保育幼稚園課長、花部正人教育総務課主席参事、松村英香政策推進課長補佐、武藤梨加主査 【株明豊】 大川祐希（Web会議システムによる出席）
議題	1 開会あいさつ 2 議事 （1） アンケート調査の結果について（速報） （2） 現行計画の検証と次期計画に向けた課題整理について （3） その他 3 閉会あいさつ
結論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	【次回審議会日程】 3月23日（火）午後7時から
事務局	ただいまから第2回米原市教育振興基本計画審議会を開催する。皆様にはお忙しい中、御出席いただき感謝する。会議を始めるにあたり

<p>会長</p>	<p>大橋会長から御挨拶をお願いする。</p> <p>御多用の中御出席いただき感謝する。</p> <p>教育に関する問題では、依存症への対策も急務である。皆さま方もご存じのように、香川県議会が「ネット・ゲーム依存症対策条例」を定め、施行した。条例は18歳未満への対策が中心で、ネットやゲームを利用する際のルール作りとそれを子どもに守らせる努力義務を保護者に課している。条例で規制することの是非の問題はあるが、私たちもこのことについてよく考えてみる必要があるのではないかと思う。ネット依存の疑いが強い中学生・高校生は全国で93万人と推計されている。中でも日常生活や健康に支障をきたすゲーム障害は一昨年、世界保健機構から疾病と認定された。そこで、医療や保健教育、ネットゲーム業界への関係者が連携して予防策を練り相談体制を充実させる、また学校や地域等多様な場で子どもを中心に議論を重ねる、そういう取組が必要かと思う。さらに、新聞掲載記事によると、日本に住民登録している外国籍の子ども約2万2千人が小中学校に通っているかどうか分からない就学不明という問題がある。この問題の解消が求められるわけだが、これへの各自治体の教育委員会の対応のあり方も問われることになるのではないかと思う。まだまだ教育環境を巡っての問題はあるが、このような現実と真摯に向き合いながら当審議会での議論を深め、第3期米原市教育振興基本計画を策定していければと思っている。委員の皆さま方のご協力をよろしく願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。続いて、教育長からごあいさつを申し上げます。</p>
<p>教育長</p>	<p>皆さん、こんばんは。寒の入りで非常に寒く夜も出にくい季節となったが、今日は第2回の米原市教育振興基本計画の審議会にご参集いただき感謝する。</p> <p>また、コロナ禍ということで、緊急事態宣言が出ている京都、岐阜</p>

	<p>を挟んで滋賀だけが何とか持ちこたえているが、米原市でも感染者が30人を超えている。日々、園や小中学校においても、本当に緊張感を持ち教育を展開しているが、市民の皆さま方のご協力の下に、現在のところ、休校措置をとらずに順調に保育教育の展開ができていことは大変ありがたいと思っている。私が教育長に就任し8年目になるが、常に教育基本計画、特に教育大綱の「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」この教育理念、そしてサブテーマの「自分も人も大切に、地域を誇る人づくり」ということで人権の視点、そしてやはりふるさと米原に愛着を感じてほしいという地域への誇りという視点において、教育がどのように展開されていくのかをずっと意識して見てきた。</p> <p>今日もアンケートの結果を分析、また今後の課題も検証しながら、今後の方向性についてご意見を賜るが、この4年間、米原らしさというのはどうだったのかということが一番気になる場所である。アンケートの回収率40%、しかも高齢化が進む中、60代以上の方の回答が約半数という中で、一定の傾向は出ているとは思うが、やはり子どもが育って社会人であるといった人の意見も結構あるとことを考えると、どう考えていけばよいか。皆さま方それぞれのお立場でこういった傾向の中で、米原らしい教育とはどのようなものかということも含めながら、いろいろアンケート結果、あるいは今後の方向性について忌憚のないご意見を賜りたいと思っているので、どうぞよろしくお願いする。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【資料確認】</p>
事務局	<p>本日は高木委員が御欠席で出席委員は14人、本会議は成立している。会議は公開となっており傍聴者があれば入室を認めることになっている。</p> <p>それでは議事について大橋会長に進行をお願いする。</p>

会長	<p>それでは議事を進行する。議事1のアンケート調査結果について事務局より報告をお願いします。</p>
策定業務コンサルタント	<p>【アンケート調査結果について、資料1～資料3に基づき説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局からの説明の内容について、質問や意見などあれば御自由にお願いしたい。</p> <p>では次の議題に移る。</p> <p>議事2 現行計画の検証と次期計画に向けた課題整理について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【現行計画の検証と次期計画に向けた課題整理について、資料3、資料4に基づき説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは米原市の教育について、現計画の検証としての事業の成果について、また課題の整備として次期計画に引き継ぐもの、新たに取り上げなければならないものについて、意見ををお願いします。また、教育長から発言のあった「米原らしさ、教育」についてのご意見も頂ければと思う。資料3の第3期教育振興基本計画に向けた現状と課題のシートに教育目標ごとの成果や課題の記載があるため、教育目標ごとに意見を伺いたい。本日は意見出しでございますので、忌憚のない意見ををお願いします。</p> <p>まず、基本目標1について、意見ををお願いします。</p>
会長	<p>第2期米原市教育振興基本計画の目標指標の状況の中の「待機児童発生数」、これは達成ということである。ところが「現状と課題」の☆印、「保育の受け皿整備」、そこで一部地域において待機児童が発生している状況となっていると記載がある。この二つは矛盾するのではないかと思う。</p>

事務局	<p>これは令和2年度の4月現在では待機児童が発生していないが、今後発生していくという状況を書かせていただいた。今後、発生する見込みとなっているため、やはり0歳から2歳の保育ニーズがかなり高まっている状況であり、今後発生するような状況になってくるといようなことがらに対応していくということである。</p>
会長	<p>発生しているというよりも、今後発生する可能性があるかと理解したらよろしいか。ありがとうございます。</p> <p>「現状と課題」の一番下、「ICTを活用した授業分野」のところだが、確かにこれは大事なことだろうと思う。先ほど、挨拶でも触れたが、いわゆるゲーム依存症、これが非常に増えてきおり、今後、情報教育の推進と並行して情報モラル教育が必要であるため、情報教育の中にきちっと位置づけることが必要だと思う。</p>
委員	<p>全国の学力調査の結果から、小学校は読書活動に課題があるとの記載がある。朝の読書タイムを設けていたが、英語教育の充実を図るとともに、朝の読書タイムが取れなくなってきており、子どもたちの読書の習慣を付けにくい状況になってきている。給食の待ち時間などを活用して、少しでも子どもたちに読書をさせる習慣を付けているが、それもなかなか定着しない。学校は、少し読書活動から遠ざかりつつあるように思う。</p> <p>今年、学校司書の一人の勤務時間数を増やしていただき感謝している。さらに学校司書が常駐する環境が作れると授業でも図書館を活用できる、図書館も素敵なレイアウトができる。図書館に子どもを通わせる手立てをしていただきたい。</p>
教育長	<p>今の読書の話だが、学校は子どもたちの朝の時間を基礎学力の定着、読書、英語など様々な取組みをしていただき大変な状況だと思う。一つは学校図書館の充実で司書の配置。できる限り蔵書を増やしたい、あるいは蔵書の管理をまずやろうと、段階を追って、充実させていき</p>

	<p>たいと思っている。さらに、子ども読書推進計画の中で「米原読書の日」を設けた。子どもたちの読書だけではなく、家族そろって読書しようという取組を始めよる。4月23日が子ども読書の日です。その毎月の23日を月1回はみんなで読書ということ打ち出そうと動いている。それが生涯学習の推進、いわゆる学び続ける市民であり、子どもたちが家族とともに読書に親しむ、そういう環境づくりも非常に影響が大きいと思う。これは、米原らしさというか、次の計画において重要な点だと思っていたので、校長の話から紹介をさせていただいた。</p>
委員	<p>貸出数が減少していることを前回の図書館協議会で知ったが、平成30年度の個人の貸出冊数が、米原市と同規模の自治体の中では米原市図書館が全国1位だった。貸出しの比率は、50代以上の方は増加しているが、高校生や中学生の貸出比率は減少している。長浜図書館では、自習室をすごく有効に活用され、自習後に本を借りることで、小中学生の貸出数を増やしている。米原市は図書館の横に「かたりベホール」という立派なホールがあり、自習室に開放すれば行く機会のない小中学生が来館する機会となるのでは。</p> <p>基本目標「生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくれます」で、「現状と課題」の中央辺りに「市民からは気軽に学習する環境が求められており、図書館や公民館等の既存の文化施設の充実と生涯学習環境を充実させていく必要がある」とある。かたりベホールは、自習室に活用しても読書する人のスペースを奪うこともないので、検討いただきたいと図書館協議委員の一員として教育長に相談したことがある。</p>
委員	<p>今、京都の古本屋で写真映像展をしている。小さな絵本屋だが、元は古本屋で一部新刊も置いたりしている。その本屋に子どもが遊びに来て、古本を読み漁ったりしている。子どもたちに聞くと「この本屋さんの匂いが好きだ」と言う。これは単に本の匂いということではなくて、その空間を上手に作っているわけである。宮沢賢治の本が集ま</p>

	<p>っているコーナーには、それをイメージさせるような人形が飾っており、その前で本を読んでいる。定期的に壁を使って、様々な展示をしていて、それを楽しみに見に来る。その本屋はその空間を意識して作っており、勉強になった。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館協議委員のメンバーでボランティアグループを作り、昨年の夏には子ども教育を考える講演会を開催した。元長浜高校の校長先生だった方に講演を3回お願いし、そのテーマに沿った本をこちらで選書し、毎回30冊親御さんに借りていただいた。昨年12月には、長浜と多和田でカイコを飼育している方を写真家が撮影した写真展を開催し、写真を見た後に工芸の本を借りていただいた。1月間で4千人程の来場者があり、米原市長や教育長にも来ていただいた。そもそも米原でカイコから真綿を作っていることを知る人がほとんどいなかった。その写真展を見て、親子で会話をする。このようなイベントで、命の大切さやものの大切さとかを教え、心を豊かにし、本を知ってもらい、交流していただく。そのような取組が米原らしさであり、米原でいい子を育てていきたいという思いで取り組んでいる。</p>
<p>委員</p>	<p>目標の「体力・運動能力調査」で中学生が、男女ともに×となっている。最近の市内の中学校の生徒の数が二極化している。特にスポーツの団体競技について、部活動を維持していくことが困難になっており、隣の中学校に希望する部活があるから、そちらに転校するケースも多い。結果、ますます生徒が減少し部活動を維持していくのが難しくなる。授業の中でも団体スポーツに触れることが難しくなってくるということも聞くため、スポーツ自体に触れていく機会が減っていくのではと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。次の基本目標に移る。</p>
<p>会長</p>	<p>「現状と課題」の最後、「家庭・学校・地域が一体となった青少年</p>

	<p>の健全育成のための環境づくり」、この家庭・学校・地域だけでは弱い、むしろ不足していると思う。特にゲーム依存の場合には、WHOが疾病分類として認定しているため、医療機関との連携はこれから必要になってくるのではと思う。ゲームやネット関係の事業者、これも相談体制の中に一員として組み込む必要があるだろうと思う。また、肝心な行政が抜けている。こういった三つの家庭・学校・地域だけではなく、事業者、医療機関、行政、こういったところがネットワークをうまく構築し、そして対応していく必要があるのではと思う。</p>
教育長	<p>子どもたちの不登校や、ひきこもりなどを考えた時に、今までは家庭・学校・地域を一つのセットに使っていたが、より子どもたちの背景を考えた時にそれだけでは対処ができない状況まで来ているということと思う。行政の中でも家庭教育、学校教育からどう福祉につなげていくのか、さらにそれが医療にどうつなげる必要があるかということは個々様々である。しかし、不登校を福祉につなげ、子どもが抱える背景をどう改善していくのかという点を重視しなければ、課題として挙がっても改善までつながらない。そこは我々行政の中で令和3年度からの計画は、そういうようなところもポイントに置いており、今後の検討の方向性として必要だと思う。</p>
委員	<p>県の新たな方向性に「家庭の教育力の向上」が書かれている。米原市についても二つ目の〇の「家庭・地域の教育力の強化の中で家庭教育力の向上に取り組みます」であるが、最近、親になりきれていない親がおられると思う。まだまだ親の視点を持ってない親にどのようにアプローチしていくのか。教育振興基本計画であるため、子育ての部分との協力が必要になるのではと思うが、教育の立場としてどのようなアプローチをしていこうということは何かあるか。</p>
教育長	<p>数年前に生涯学習課の中で、家庭教育向上のためのいろいろな取組をしたが、これは非常に難しい。家庭教育のための講演会をしても、人</p>

	<p>の集客が厳しい。これは非常に大きな課題だと私も思っている。アンケート結果では、親子で一緒に食事をしたり、親子で一緒に体験をするとの回答が多かった。家族一緒に読書をし、読んだ本について話すことにより、さらに本を読むことにつながる。これが家庭の一体感である。同じ空間や時間を過ごすことが、大きな影響を与えてくれると嬉しいと思う。ただ講演会を聞くではなく、同じ時間をともに過ごすことから始めることが、一番かなと思った。</p>
委員	<p>親子で一緒に過ごすというが、何をしたらいいのか分からない、知らないといった情報がない家庭、親もたくさんおられると思う。遊び方や体験など、多岐に渡る内容を、伊吹山テレビで動画を紹介するなど、遊び方を広げることも一つ方法としてはあるのではと思う。コロナ禍により家族で一緒に過ごす時間が増えたとよく聞くが、それでも家族の会話についてのアンケート結果で、話さないとの回答が驚く数値で、小学生や未就園児の時に親子で楽しい時間を多く過ごす、高校生・大学生になっても、そういう楽しみ方が家族でできるのではないかと思う。</p>
委員	<p>園にいる時間が長い子どもは、家に帰って一緒に触れ合うのが風呂入って寝るまでの1～2時間であり、その間に親子で触れ合うことが難しい。低年齢の頃から、すでにYouTubeや携帯のゲームをする子どももいる。親御さんも社会も多岐に渡り、様々な家庭があるので、私たちはどう対応すればよいかを日々苦慮しているが、これが未就学児の現状ではないかと思う。</p>
委員	<p>春照小学校の学校協議会において、こもれば読書会という名目で、伊吹薬草の里文化センターの広い芝生広場がある場所で、寝転んでの読書や、茶室での読書といった活動を実施された。少し場所を変えるための空間の提供や、生涯学習講座の中に親子で参加できるような企画も来年度盛り込みながら、家庭で楽しんでもらえる活動ができる場</p>

委員	<p>を提供していきたいと考えている。</p> <p>家庭の中で、昔は3世代同居家庭が多かったが、今は核家族が多い。私は学校の制服屋で衣類の直しもしているが、ホックやボタンが取れた時に教えてくれる人がいなかったと保護者が言われていた。学校教育の中で親世代でも家庭科のカリキュラムの時間が減少しており、子どもの縫い物をできる親が少ない。地域の高齢者が元気で、親が仕事で忙しい場合等、土日にコミュニティの施設に行けば、おばあちゃんやおじいちゃんと一緒に囲碁や編み物ができるといった、そういう場所があってもいいかなと思う。</p>
委員	<p>子ども会の参加人数が減少傾向になっている。子どもが成長したので遠ざかったが市子連に関わっていた。その頃からスポーツクラブ等に子どもを取られていた。少子化で単位子ども会の活動もかなり厳しいのではないかなと思う。それに変わるものとして、この冒険遊び場やコミュニティ・スクールなどが代わりに子ども会の役割を担っていくのではないかなと思う。子ども会は残したほうが良いが、子ども会に代わる活動でフォローしていければ良いのではないかなと思っている。</p>
会長	<p>他によろしいですか。続いて基本目標3に移る。</p>
会長	<p>まず、第2期の「成果と課題」について。今回のアンケート調査結果のところ「小学校の施設整備・改修、中学校の施設整備・改修」について、進んでいると思っている方の割合が少なく、3割半ばということになっている。これは「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告書」では、小学校・中学校の施設整備改修についてはA評価となっている。行政としては成果を出したと評価したにもかかわらず、市民から十分評価されていないといった結果になった。これは周知ができていない結果であると理解している。こうい</p>

教育長	<p>う施設整備に関しては、成果があれば市民の方にもアナウンスしておく必要がある。</p> <p>次に、米原市の学校教育充実のためにどんな取組が必要かということで、教職員の資質の向上や人員体制の充実、また教員に関わる項目が非常に高い割合で出てきている。点検評価報告書の教育センター事業では、研修されておりB評価になっている。教員の方々が研修を受講しても、身につけていないのか、あるいは市民の方々の教員に求める水準が高すぎるのか分からないが、ここの数字というのは非常に奇異に映っている。次の一番下のところ。これも教職員研修を受講した先生方の満足度が高く、学校の先生に対しての望みも高い結果を見てみると、大きくかい離しているという気がする。</p> <p>「現状と課題」、特に3番目の☆ですが「教員のさらなる資質の向上」と記載があるが、資質は教員としての適性を問うているものであり、適性を改善するという事は非常に難しく思う。課題として挙げられるならば、表現を考えられたほうがよいと思う。市民の方が求めているのは、多分教育指導力だと思う。</p> <p>一番下の就学進学に関わる経済的支援。これは報告書の中に書いてあり、奨学金制度については申請者数が40人を切っている状況で今年度から二次募集をされている。それに加え、高校生に周知をされている。この制度は米原市独自のものだと思うので、そこに米原市らしさというものが出ていると思う。これを市民に認識していただくためにも、中学3年生の段階で保護者の方々にも説明して、認識していただくことも必要なのではと思う。質問というよりご意見ですが、検討をお願いします。</p> <p>施設の整備・充実の件については私も残念だと思っている。平成26年・27年辺りにエアコンを一斉に小中学校全てに取り付けており、施設の充実についてのアピールが強かったと思う。しかし、最近では学校ごとに年次計画によって施設整備を進めているため、市民全体に周知について不十分だったという気がする。ただ、点検評価等では当然予</p>
-----	---

	<p>算を計画的に配置し、計画的に執行していると。だから評価はあるという、その辺りの違いはあるかと思う。</p> <p>教員の指導力の向上については、米原市だけではなくて全国的な課題でもある。また、最近は若い先生方が多く採用され、毎年のように学校に配置される。ネットで様々な情報が飛び交う時代であり、保護者のニーズが高い。非常に先生方にとっては厳しい時代。一生懸命研修も組み立てながら実施してはいるものの、若い先生を育てるには時間がかかるということを感じている。怠っているわけではないが、やはり若い方の体験的な学びは、昔の先生方に比べれば少ない。以前は打たれ強い先生がたくさんいた。世の中のニーズとしては十分受け止めながら、先生方の指導力や人間力の向上をポイントにしていくべきだとは思う。奨学金については、米原らしさとして提案しながらも、今ご指摘いただいた中学生から米原市の奨学金制度の周知を図り、夢と希望を抱いてくれることが何よりだと思っている。</p>
委員	<p>奨学金について、子どもにこの奨学制度を利用したらどうかと言った。しかし、帰郷して働かなければいけないのに、米原には私が希望する就職先が少ないと言われた。このアンケートでも出ているように、伊吹高校生になぜ1回米原から出たのいかを尋ねてみたところ、米原は好きだが一度は都会を経験してみたい、親から離れてみたいとの意見があった。奨学金を借りると米原で働かなければいけない。せっかくいい制度があるのに、就職先がないなどの問題がある。</p>
事務局	<p>この時期は新入学の準備シーズンであるが、入学準備品の支援制度は何月ぐらいに応募して、何月に親御さんに支給されるか。</p> <p>今、ちょうど入学準備金については募集をしている。今年度は、2月12日が締め切りになり、3月上旬に支給させていただく予定をしている。</p>
委員	<p>制服の購入について、3月上旬が支払の時期である。コロナによる</p>

事務局	<p>影響も含めた支援制度の見直しはないのか。</p> <p>今はない。</p>
委員	<p>結構な金額でいつもは大丈夫でも今年は難しいかもしれない、だからこそ急ぐべき制度かと思うがいかがか。制服の購入時期や修学旅行の時期などは支払いの時期等がある。保護者が一旦支払う必要があるのならば、コロナだと建て替えもできないかもしれないため、期間的な見直しも必要かと思う。1月に注文されるので多分緊張されていると思う。期間をもう少し前倒ししてもらったほうがいいかもしれない。</p>
委員	<p>先日、テレビで先ほどの学校設備について、滋賀県の学校関係のバリアフリー化や、トイレの洋式化といったような貢献活動が全国1位であるとの報道があった。長浜でもトイレの洋式化の工事をしている看板が学校の施設の入り口にあった。アナウンスの仕方というのも必要ではないか。アンケート結果では、子育てを終えた50、60代の方の回答が多いため、その方々には今の学校の状況がほとんど入ってこない。そのため、改善について見える化されていないため、低い結果となったのではないか。</p> <p>教員の資質の向上については自己研さんしかない。いかに学校のリーダー等が、研修のチラシなど目に触れる形で示すなど研修機会をつくり、関心を持って参加すると、そこから友達関係や教員のネットワークができる。保護者の方も高学歴の人が多いため、違うノウハウを持つ親が多いということを前提にすると、やはり対等に話ができるように自分の資質を上げる姿勢が必要。自分は教員養成大学を出た、教員免許を持っているからといったように、そこに安住していると絶対駄目だということを常に私は言ってきたつもりである。</p>
委員	<p>「現状と課題」の一番上、通級指導教室について。子どもの通級指導教室の利用について、1対1で学習できるため、安心して学校に通</p>

	<p>うことができ、学習自体が楽しくなってきたと大変満足している。</p> <p>利用する児童生徒が年々増え、複数児童生徒に先生が一人いったケースが多く先生の確保も問題。学校によっては教室が無い所があると聞いているので、全ての学校にこの教室があればと思っている。</p>
委員	<p>施設のアピールの仕方について。学校の消毒ボランティアの方が、トイレがきれいであることに驚かれていた。学校整備は進んでいると思う。特に肢体不自由の方がいる時には必ずエレベーターを各学校に設置されるため、ほとんどの中学校にはエレベーターが設置されているかと思う。そういう部分ではもっとアピールをされても良いと思う。</p>
事務局	<p>新たに施設ができた場合は、情報政策課もテレビ取材に来るが、改修工事は厳しい部分がある。現在実施している、双葉中学校の長寿命化工事の経費は約9億円であり、大きな改修前後の違いがあると思う。取材に来ていただき、見える化を今後もしていきたい。改修工事では、学校に関係のない市民の方は分からないので、今後は広報に力を入れる必要があると思った。</p>
委員	<p>「現状と課題」の下から二つ目の☆のところ。安全な通学環境の確保について。ここでは少子化による少人数での登下校や熊の出没等々でいろいろ課題がある。私は熊の出没地域に住んでいる。子どもたちの人数が減少し、私の幼い頃と比べると登校班が3分の1ほどの人数に減少している。例年、1年生が一人の年もあり、今後0人の年も出てくるため、登校はできても下校が1年生一人で帰らせるとか、2年生だけ帰るような状況も目前に迫っており、非常に不安な要素がある。スクールガードのなり手も減少しており、カバーできない部分もある。基本方針を定めてから5年経過しており見直しを行うことも書いてある。ぜひ早めに着手していただけるとありがたいなと親の立場から思う。</p>

委員	<p>「国の新たな方向性」の中で、ICTの環境設定を進めることが国の方針に出ている。先ほどの基本目標1の「ICTを活用した授業運営」という部分もあるが、ハード面では、大きい学校だと児童生徒数が多く、一斉にタブレットを使うと動かなくなる可能性は十分あると懸念される。そういうハード面の整備もお願いしたいというのが現場からの意見である。</p>
事務局	<p>今年度、各学校の重要なネットワークの部分については、新たに設置を行った。今後はクラウドで授業をしていただくことになる。各学校において、現在インターネット契約を締結しているが、契約内容が学校によって異なる。一人1台タブレットが配備され、一人の子どもについて2MBの容量がいるのではないかと通知も届いている。学校にプロバイダのほうと1ギガバイトの契約に切り替えていただくようお願いしようと思っている。見積もりでは、現在の契約との差額が、月額大体500円程度増額と聞いており、予算の範囲内で対応可能であると考えている。</p>
会長	<p>他によろしいですか。続いて基本目標4に移る。</p>
委員	<p>課題のスポーツのところ。「スポーツ施設や設備の充実の割合が最も高く」とあるが、伊吹サッカースタジアムの方が、「伊吹高校の生徒は結構使用いただいているが、どちらかと言えば長浜のサッカースクールが使用している。伊吹サッカースタジアムは滋賀県で一番の広さと屋内サッカースタジアムもあり、県内で一番充実した施設といわれているが、米原市民にあまり使用されていない。」と話されていた。米原市とタイアップして、何か企画し使用したらどうか。</p>
委員	<p>私は、ルッチまちづくり大学を卒業し、いろいろな委員に呼んでいただいた。教育振興基本計画の事業をやるには、市の職員や学校の先生だけでは無理だと思う。やはり、米原市民全員が関心を持ち、これ</p>

委員	<p>に関わって一つ一つ人材を盛り上げるというような活動をしなければ、この計画は実りあるものにならないのではないかと思います。他のいろいろな学びの機会を通じて、米原市民をもっと積極的に前に出すような活動を推進していったほうがいいのではないかと思います。</p> <p>私も今、ルッチまちづくり大学の現役生だが、学生は何かしらの活動に参加していた方や、市の職員などが大半。今までに参加していないような方々をいかに取り込むかというのが大きな課題だと考えている。</p>
会長	<p>他によろしいですか。続いて基本目標5に移る。</p>
委員	<p>「国の新たな方向性」の白丸の上から二つ目、すごいことが書いてあるなと思って読んだ。「小中高等学校等に置いて、学習指導要領に基づいて教科等横断的に環境教育を進める。それについては関係府省が連携して、指導に対する研修も実施する。」これは正に理想的。環境に関する学びは非常に大事なことであり、小学校の低学年ぐらいかから段階的に計画的に進めなければ適切な教育にはならない。米原市の現状と課題や、米原市の新たな方向性では、学校教育の中で系統立った環境に対しての学びではなく、従来通りのイベントなどの単語が出ていた。これはつまり、学校教育の中に環境の学びを入れることにはほど遠いという感覚がする。環境教育というのは、命をどう考えるかという教育でもある。野生動物などの自然と人の距離というものを適切にとらないと感染症がまん延することにもなるといったことも系統立てて教える必要がある。それはプロの仕事だと思うので、学校教育の中にきちんと入れ込んでいかないとできないと思う。</p>
教育長	<p>全ての学校で環境教育の全体計画というものがあり、既に教科横断的な子どもたちの発達段階に応じた全体計画がある。ここでは特徴的な部分を記載しているが、実際は国が進める横断的な学びで全体計画</p>

委員	<p>があり、さらにそれぞれの学校の地域の実態に応じた特色ある環境教育というのは実施されている。記載が少し薄いとは思いますが。</p> <p>山東小学校の地域では虫があるなど、それぞれの地域の実態の学びも柱にしながら実施されているので、これは整理し記載する必要がある。</p> <p>昔、山東町の時代に、三島池自然観察会あり、そこに参加されていた女性が先日、「あの頃はよかった」と言われていた。子どもたちが成長しても三島池とか伊吹山とか大好きだし、伊吹山の外来種の雑草の駆除に行った。自分も地域の環境に役立っているという記憶が子どもたちにもある。今は無いのでそういうプログラムがあってもいいかと思う。SDGs という目標もあるため、学校で環境のドキュメンタリー映画を見る機会があれば、もう少し刺激を受けるのではないかと思う。</p>
会長	<p>全体でご意見がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>今、『スマホ脳』という教養書が全国ベストセラーで売れている。Appleのスティーブ・ジョブズですら子どもにはタブレットは中学校以降しか持たせなかったとも言っていた。学校で決められた時間の中でタブレットを使用することはよいが、家庭でのスマホ使用をどうしていくか。親自身が多く使用している。結局、今の若者だと一日の8時間使用しているそう。ある実験では、スマホを身近に置いていだけで、影響がでるとの結果がでている。また、中学校において、スマホを持参した生徒がおり、トラブルがあったようだ。学校や家庭でのスマホのルールや親が躰を行う中でスマホとどのように共存していくかを、学校だより等で発信し啓発する必要があると思う。先ほど読書の機会が減少しているという話があったが、読書がスマホに置き換わっている。SNSで「いいね」が入らず、うつになる女性も多いようだ。スマホはいいところもあるが、使い方を誤ると本当に百害あ</p>

<p>会長</p>	<p>って一利なしになるかもしれない。親にもスマホの教育をしていく必要があり、子どもにも発信することが良いと思う。子どもには本を読めと言って親が平気でスマホをしていては子どもが本を読むわけがない。米原らしさでもいいのだが、何か実施してほしい。</p> <p>予定時間となったため、これで終了してもよいか。ありがとうございました。</p> <p>本日いただいた御意見以外にもあれば、メール、FAX等で事務局へお願いします。本日予定していた議事は終了する。その他、事務局からお願いします。</p> <p>次回、第3回目の審議会の日程について、候補日を3日ほど用意している。事務局としましては3月23日（火）に開催したいと思う。</p> <p>会場は山東庁舎別館2AB会議室となります。</p>
<p>事務局</p>	<p>第3回審議会では、本日議論いただいた現状と課題を整理し、計画の骨子について議論いただきたい。計画の骨子を作成する上で、市民アンケートの他に、各小中学校の教職員の意見や各種団体の意見も参考にしたいと考えている。</p> <p>教職員アンケート等の実施については、時間の都合により内容について、会長、副会長と相談させていただきたいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の日程はすべて終了した。ありがとうございます。閉会にあたり、副会長からごあいさつを頂きたいと思う。よろしく願います。</p>
<p>副会長</p>	<p>いろいろな意見が出たと思う。またご意見があれば、事務局のほうに伝えて頂ければ事務局も助かると思う。広く意見を集約し、いいものができ上がるようにしていきたいと思う。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>